



## 《将来に向けた取組方針》

TOTOグループは、環境問題を“事業を通じて解決する課題”として位置づけ、持続可能な社会づくりに貢献することを目的に「地球環境方針」を定めています。この方針に沿った事業活動を行うことにより、生物多様性の保全と持続可能な利用を進めると共に、絶滅危惧種に悪影響を与えることのないよう努めています。

## 〈社会に向けたメッセージ〉

### 【新共通価値創造戦略 TOTO WILL 2030】

2021年4月に新共通価値創造戦略「TOTO WILL 2030」を策定しました。

重要課題であるマテリアリティを「きれいで快適」「環境」「人とのつながり」として、サステナビリティ経営を推進し、地球環境に負荷をかけずに豊かで快適な未来社会を実現するとともに、経済成長の実現を目指します。



## 〈具体的取組み事例〉

### 【事例1：生物多様性に配慮した調達】

「持続可能な原料調達基準」を制定し、主力商品の原材料である土石原料および、木質材料の調達を配慮すべき重要項目と定義しています。土石原料では、すべての鉱山を対象にアンケートやヒアリングを実施し、基準を達成していることを確認しています。また、木質材料では、商品における合法木材・再生材の使用率は100%となっています。

### 【事例2：水使用量削減の取り組み】

持続可能な事業活動を見据え、水に関するリスク評価を実施しています。特に、生産工程では多くの水を使用するため、生産拠点の各々の地域における水ストレス状況を把握し、効果的な対応につなげています。

### 【事例3：水環境の保全】

水まわり商品を提供する企業として、河川や海などの水環境保全に向けた活動を続けています。2005年に設立した「TOTO水環境基金」を通じて、水源や水質、生物多様性の保全などに取り組む各種団体を助成するほか、これら団体や地域の方が実施する活動に社員もボランティアとして参加しています。



北海道での湿原の生物調査  
(カラカネイトンポを守る会あいあい自然ネットワーク)



ベトナムでのトイレ建設の研修会  
(国際開発支援財団)